



いのち

いつでも どこでも だれにでも

笑顔で挨拶 自分から



安中大好き!

生命を大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成
～ すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくまさいっぱい ～

暑中お見舞い申し上げます

毎日毎日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？夏休みに入り、感染症拡大の波が島原市はもとより、県内各地に広がっており、誰もがいつ感染してしまうかわからない状況になっております。熱中症防止とともに、適切なマスクの脱着はもとより、今できる感染症予防に努めていくよう、声を掛けていきます。

平和集会

本日の平和集会において下記のような話をしました(抜粋)



今日は8月9日、長崎原爆の日です。今年も9月に4年生が社会科見学で行っている長崎市で、今から77年前の今日、11時02分、一発の原子爆弾が落とされました。当時の長崎市の人口24万人のうち約7万4千人が死没。建物の36%が全焼または全半壊しました。そしてこの原子爆弾の怖さは、今なおそのことが原因で、亡くなっている人や病気で苦しみ続けている人がたくさんいらっしゃるということです。「原爆死没者名簿」によると、令和3年8月9日現在 189,245人がお亡くなりになっています。今年はこれに約3300人分が書き加わる予定だそうです。台風や大雨などの自然災害でも人の命が奪われることがあります。戦争は、人が人の命を奪うとても恐ろしい、そして愚かな行いです。国と国とが戦争をすれば、何の罪もない人の命までうばいます。ウクライナでの戦争も、まだ終わっていません。一日も早く終わり、平和な暮らしが戻ることを祈るばかりです。

さて、日本が行っていた戦争が終わって77年が経ち、実際に経験した人が非常に少なくなった今だからこそ、私たちは戦争のこと・平和のことを『自分事』として真剣に考えなければなりません。8月6日(広島原爆の日)、8月9日(長崎原爆の日)、8月15日(第2次世界大戦が終わった、終戦記念日)を迎えるたびに、戦争や原爆の怖さを感じ、二度と起こしてはいけないと強く思います。(中略)学校や学級だって同じです。自分の生命(いのち)が大切なように、友達の生命(いのち)も大切にすること、お互い助け合って、支え合って生きていくことがとても大切です。(後略)

現在の雲仙普賢岳について学びました

(7/22)～現職教育～

雲仙砂防管理センター(旧雲仙復興事務所)の本村センター長を講師としてお招きし、現在の普賢岳の様子や五小の避難経路等についてご指導いただきました。災害によって避難の仕方が変わってくることや、正確な情報をいち早く収集することの大切さを学びました。



Enjoy (楽しむ)

→ 面倒だと感じることも、その中に楽しみを見つけ、やりぬく力を育てよう。

Think (考える)

→ これでいいのかを常に考えて行動する力を育てよう。



Challenge (挑戦する)

→ もう少しがんばればできそうなめあて(目標)を決め、努力する力を身につけよう。

令和4年度
島原市立第五小学校